



ファームウェアバージョン :		R6.30.B022
ハードウェアバージョン :	DGS-1210-10	F1
	DGS-1210-10P	
	DGS-1210-10MP	
	DGS-1210-20	
	DGS-1210-28	F1/F2/F3
	DGS-1210-28P	F1
	DGS-1210-28MP	F1/F2/F3/F4
	DGS-1210-52	F1/F2/F3
発行日 :		2022/10/6

本リリースノートには、D-Link 製スイッチのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のスイッチに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいスイッチにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のスイッチがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。
- 新しくリリースされたファームウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でファームウェアのアップグレードを行ってください。

スイッチ本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次 :

変更履歴とシステム要件 :	2
アップグレード時の注意事項 :	3
アップグレード作業時の注意事項	3
バージョンの互換性に関する注意事項	3
ファームウェアファイルの適用手順について	3
アップグレード手順 :	4
追加機能 :	11
MIB の変更点 :	11
修正した問題点 :	11
既知の問題 :	12

変更履歴とシステム要件：

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
R6.30.B022	2022/10/6	DGS-1210-10	F1
		DGS-1210-10P	
		DGS-1210-10MP	
		DGS-1210-20	
		DGS-1210-28	F1/F2/F3
		DGS-1210-28P	F1
		DGS-1210-28MP	F1/F2/F3/F4
		DGS-1210-52	F1/F2/F3

変更履歴	
2022/10/6	・ 初版リリース
2022/11/25	・ 対応製品に DGS-1210-52/F3 を追加 ・ DGS-1210-52/F3 に関する制限事項を追記
2023/1/26	・ 対応製品に DGS-1210-28/F3、DGS-1210-28MP/F3 を追加 ・ DGS-1210-28/F3、DGS-1210-28MP/F3 に関する制限事項を追記
2023/6/6	・ 対応製品に DGS-1210-28MP/F4 を追加 ・ DGS-1210-28MP/F4 に関する制限事項を追記

アップグレード時の注意事項：

アップグレード作業時の注意事項

- ファームウェアのアップグレードを行う際に TFTP を使用する場合は、セーフガードエンジン機能を無効にする必要がありますのでご注意ください。
- リンクアグリゲーション（LAG）、スパニングツリー（STP）を使用している場合は、ファームウェアアップグレードの操作中、DGS-1210 の動作が不安定になる可能性があるため、ネットワークから切り離して実施してください。
- HTTPS 経由でのファームウェアアップグレードには対応していません。

バージョンの互換性に関する注意事項

アップグレードを行う前に、ご利用の H/W および F/W バージョンを必ずご確認ください。

操作	注意事項
DGS-1210-28/F3、DGS-1210-28MP/F3 及び F4、DGS-1210-52/F3 における R6.30.022 から R6.20.B020 以前のバージョンへのダウングレード	非サポート※1
R6.10.B010 以降から古いバージョン（6.00.Bxxx）へのダウングレード	非サポート※2
R6.11 または R6.20 のバージョンから R6.10.B010 へダウングレード	帯域制御の設定は引き継がれません。
R6.11 または R6.20 のバージョンで取得したコンフィグを R6.10.B010 のシステムヘリストアした場合	
R6.30.022 のシステムで取得したコンフィグレーションファイルの R6.20 以前のシステムへのリストア	R6.20 以前のシステムとの互換性なし※3
R6.20 以前のシステムで取得したコンフィグレーションファイルの R6.30.022 のシステムへのリストア	R6.30 と互換性あり、適用可能※4

※1 DGS-1210-28/F3、DGS-1210-28MP/F3 及び F4、DGS-1210-52/F3 以外の製品における R6.20 へのダウングレードは可能です。

※2 R6.10.B010 以降では、シリーズ共通のファームウェアイメージへと統合されています。

※3 R6.30 のシステムで取得したコンフィグレーションファイルを古いバージョンを使用している互換性のない機器に適用しないでください。予期せぬ動作を引き起こす可能性があります。

※4 R6.20 以前のバージョンから R6.30.022 へアップグレードした際に、コンフィグレーションを引継ぐことが可能です。また、R6.20 以前のシステムで取得したコンフィグレーションファイルを R6.30.022 のシステムヘリストアすることが可能です。

ファームウェアファイルの適用手順について

V6.30 では新しいイメージファイル（.con）で暗号化に対応しています。V6.20 以前のバージョンからアップグレードする場合、以下の手順でファームウェアファイルを適用し、アップグレードを実施する必要があります。

- ① V6.20 以前のバージョンから v6.30.016（.hex）にアップグレード
- ② もう片方のイメージに v6.30.B022（.con）を適用

適用順序	ファイル名
①	DGS1210_Fx_FW6_30_016.hex（中間ファームウェア）
②	DGS1210_Fx_FW6_30_B022.con

※ダウングレードの際は、.con ファイルのイメージから V6.20 以前のバージョンへ直接ダウングレードしていただけます。

※ダウングレードが可能なハードウェアには制限があります。

※手順詳細は下記「アップグレード手順」をご確認ください。

アップグレード手順：

ファームウェアアップグレードは、CLI（Telnet 経由）または Web GUI から実行することができます。

CLI（Telnet 経由）を使用するアップグレード

1. スイッチと PC 間でネットワーク接続が確立されているかをご確認ください。
2. Telnet をサポートしているソフトウェア（例えばハイパーターミナルや Microsoft Windows の Telnet コマンド）を使ってスイッチに接続します。
Telnet コマンドを使う場合は、スイッチの IP アドレスに合わせてコマンドを入力してください。
例：telnet 10.90.90.90
3. ユーザ名とパスワードの入力を求められます。
工場出荷時のユーザ名およびパスワードは admin です。
4. ファームウェアをアップグレードするには、以下のコマンドを実行します。

コマンド	説明
download {firmware_fromTFTP {<ipaddr> <ipv6addr>} <path_filename (64)> image_id <integer 1-2>}	TFTP サーバからスイッチにファームウェアをダウンロードします。
config firmware image_id <integer 1-2> boot_up	ブートイメージを変更します。
show boot_file	スイッチの現在のブートイメージ ID 及びブートコンフィグ ID を表示します。
show switch	スイッチの現在のファームウェアバージョン及びブートコードバージョンを表示します。

※CLI コマンドの詳細は WebGUI マニュアルの「コマンドラインインタフェース」の章を参照ください。

5. 次の例を参考にファームウェアのアップデートを行ってください。

① 中間ファームウェアファイル（DGS1210_Fx_FW6_30_016.hex）の適用

- (1) ファームウェアを本製品にダウンロードします。

※「DGS1210_Fx_FW6_30_B022.con」にアップグレードする前に、「DGS1210_Fx_FW6_30_016.hex」を適用する必要があります。

※V6.10.B010以降のバージョンをご利用の場合、ファームウェアは現在のブートイメージとは別のイメージに適用されます。

※V6.00.B023をご利用の場合、image_idオプションを使用して適用するブートイメージIDを指定してください。

```
DGS-1210-52> download firmware_fromTFTP 10.90.90.100 DGS1210_Fx_FW6_30_016.hex
```

```
Connecting to server..... Done.
```

```
Download firmware..... Done. Do not power off!
```

```
Please wait, programming flash..... 8 %
```

(2) 現在のブートイメージのIDを確認します。

※V6.00.B023をご利用で、現在のブートイメージに上書きした場合は、手順（2）～（5）は実施不要です。ただし、R6.10においてイメージファイルの更新処理に関する変更が行われているため、新しいイメージファイルを現在のブートイメージに上書き適用した場合でも、アップグレード後、手動にて再度スイッチを再起動することを推奨致します。

```
DGS-1210-52> show boot_file
```

```
Bootup Firmware : image_2
```

```
Bootup Configuration : config_2
```

(3) ブートイメージを指定します。

```
DGS-1210-52> config firmware image_id 1 boot_up
```

(4) スイッチを再起動します。

```
DGS-1210-52> reboot
```

% Device will reboot, please wait a few minutes to re-login.

注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

(5) 再起動後、「show switch」コマンドを使用して、ファームウェアがアップグレードされているか確認してください。

```
DGS-1210-52> show switch
```

System name	:
System Contact	:
System Location	:
System up time	: 0 days, 0 hrs, 2 min, 31 secs
System Time	: 01/01/2020 00:02:19
System hardware version	: F1
System firmware version	: 6.30.016
System boot version	: 1.00.009
System serial number	: QBDGS12105200
MAC Address	: XX-XX-XX-XX-XX-XX

② V6.30 へのアップグレード（DGS1210_Fx_FW6_30_B022.con の適用）

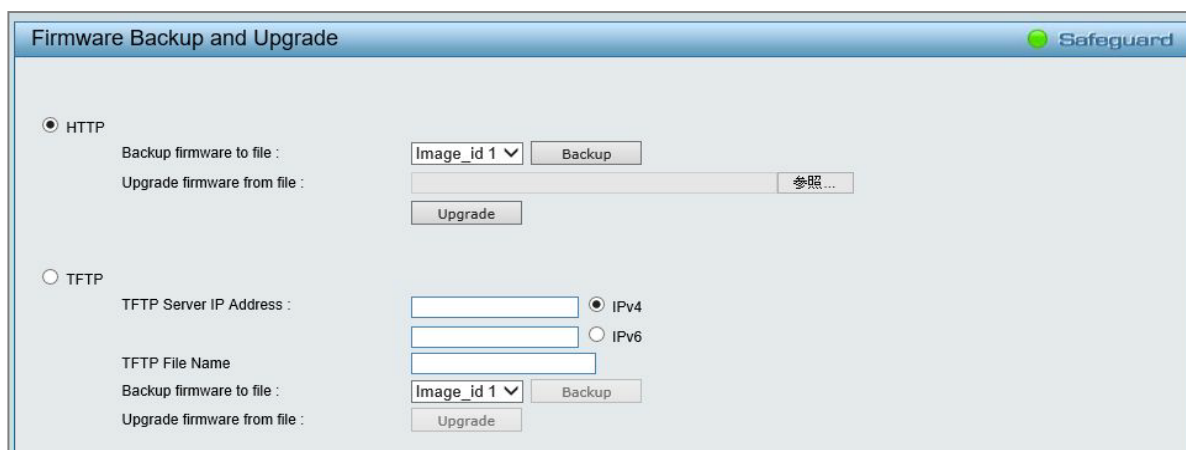
(6) 手順（1）～（5）を参照し、もう片方のイメージにV6.30.B022のファームウェアファイルを適用します。

Web GUI を使用するアップグレード

1. Java SE runtime environment をダウンロードして、お客様の PC にインストールします。
2. ブラウザを起動し、システムの IP アドレスを指定してスイッチにアクセスします。
デフォルトのシステム IP アドレス：10.90.90.90
デフォルトのログインパスワード：admin
3. [Tools] メニューから[Firmware Backup & Upgrade]を選択します。



4. [Firmware Backup and Upgrade]画面では、「HTTP」もしくは「TFTP」経由でファームウェアのアップグレードを行うことができます。



HTTP 経由でファームウェアのアップグレードを行う場合：

5. 中間ファームウェアファイル（DGS1210_Fx_FW6_30_016.hex）を適用します。

- (1) [HTTP]を選択します。
- (2) [参照]/[Browse]ボタンをクリックしてローカル PC 内のファームウェアファイルを指定 → [Upgrade]ボタンをクリックします。

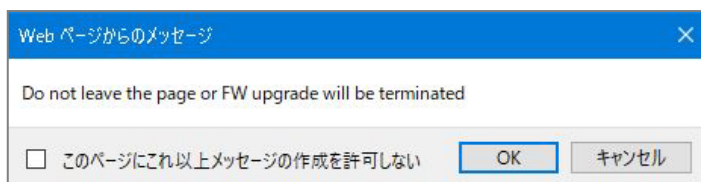
※「DGS1210_Fx_FW6_30_B022.con」にアップグレードする前に、「DGS1210_Fx_FW6_30_016.hex」を適用する必要があります。

※V6.10.B010 以降のバージョンをご利用の場合、Image ID の指定はできません。新しいイメージファイルは現在のイメージ ID とは別の ID に適用されます。

- (3) [Upgrade]ボタンをクリックした後、次のメッセージが表示されるので[OK]をクリックします。



- (4) 続いて、次のメッセージが表示されるので、[OK]をクリックします。



- (5) ファームウェアのアップグレードが開始され、進行状況を示す画面が表示されます。そのままお待ちください。

注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

- (6) 「Firmware Upgrade successfully.」のメッセージが表示されるので、「OK」をクリックします。

- (7) [System]>[Firmware Information]を選択します。
 ※V6.00.B023 をご利用で、現在のブートイメージに上書きした場合は、手順（7）～は実施不要です。ただし、R6.10 においてイメージファイルの更新処理に関する変更が行われているため、新しいイメージファイルを現在のブートイメージに上書き適用した場合でも、アップグレード後、手動にて再度スイッチを再起動することを推奨致します。
- (8) 新しいイメージ ID を指定し、「Apply」をクリックします。ID の横に*マークが付いている方が現在のブートイメージです。

ID	Version	Size (B)	Update Time	From	User
*c1	6.20.B020	11927024	01/01/2020 00:41:10	10.90.90.100	admin (Web)
2	6.30.016	12774896	01/01/2020 00:46:07	10.90.90.100	admin (Web)

Please select the boot up image of device.

Image id 2

Apply

- (9) [Tools]→[Reboot Device]をクリックします。
- (10) 以下の画面で「Reboot」ボタンをクリックし、スイッチを再起動してください。

Reboot System

Do you want to save the settings ? ☒ YES ☐ NO

If you do not save the settings, all changes made in this session will be lost.

Reboot

6. V6.30 へのアップグレード（DGS1210_Fx_FW6_30_B022.con の適用）を行います。
 手順 5 を参照し、もう片方のイメージに V6.30.B022 のファームウェアファイルを適用します。
 ※「DGS1210_Fx_FW6_30_B022.con」のファームウェアファイルを適用し、ブートイメージに指定して再起動します。
7. 再度ログインし、「Device Information」画面でファームウェアがアップグレードされていることを確認します。

ID	Version	Size (B)	Update Time	From	User
*c1	6.30.B022	12787372	01/01/2020 00:50:38	10.90.90.100	admin (Web)
2	6.30.016	12774896	01/01/2020 00:46:07	10.90.90.100	admin (Web)

TFTP 経由でファームウェアのアップグレードを行う場合：

※TFTP を使用する場合は、セーフガードエンジン機能を無効にする必要がありますのでご注意ください。

5. 中間ファームウェアファイル（DGS1210_Fx_FW6_30_016.hex）を適用します。

- (1) [TFTP] を選択します。
- (2) [TFTP Server IP Address]に TFTP サーバの IP アドレス、[TFTP File Name]にファームウェアのファイル名を入力 → [Upgrade]ボタンをクリックします。

※「DGS1210_Fx_FW6_30_B022.con」にアップグレードする前に、「DGS1210_Fx_FW6_30_016.hex」を適用する必要があります。

※新しいイメージファイルは現在のイメージ ID とは別の ID に適用されます。

- (3) [Upgrade]ボタンをクリックすると、次のメッセージが表示されるので、[OK]ボタンをクリックします。



- (4) ファームウェアのアップグレードが開始され、進行状況を示す画面が表示されます。そのままお待ちください。

注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

- (5) 「Firmware Upgrade successfully.」のメッセージが表示されるので、「OK」をクリックします。

※「DGS1210_Fx_FW6_30_B022.con」適用時はメッセージが切り替わりませんが、「OK」ボタンが出現しますので、「OK」をクリックして続けてください。

- (6) [System]>[Firmware Information]を選択します。
※V6.00.B023 をご利用で、現在のブートイメージに上書きした場合は、手順（7）～は実施不要です。ただし、R6.10 においてイメージファイルの更新処理に関する変更が行われているため、新しいイメージファイルを現在のブートイメージに上書き適用した場合でも、アップグレード後、手動にて再度スイッチを再起動することを推奨致します。

- (7) 新しいイメージ ID を指定し、「Apply」をクリックします。ID の横に*マークが付いている方が現在のブートイメージです。

Firmware Information

ID	Version	Size (B)	Update Time	From	User
*c1	6.30.B020	11927024	01/01/2020 00:41:10	10.90.90.100	admin (Web)
2	6.30.016	12774896	01/01/2020 00:46:07	10.90.90.100	admin (Web)

Please select the boot up image of device.

Image id 2 ▼

Apply

- (8) 以下の画面で「Reboot」ボタンをクリックし、スイッチを再起動してください。

Reboot System

Do you want to save the settings ? ☒ YES ☐ NO

If you do not save the settings, all changes made in this session will be lost.

Reboot

6. V6.30 へのアップグレード（DGS1210_Fx_FW6_30_B022.con の適用）を行います。
 手順 5 を参照し、もう片方のイメージに V6.30.B022 のファームウェアファイルを適用します。
 ※「DGS1210_Fx_FW6_30_B022.con」のファームウェアファイルを適用し、ブートイメージに指定して再起動します。

7. 再度ログインし、「Device Information」画面でファームウェアがアップグレードされていることを確認します。

Firmware Information

ID	Version	Size (B)	Update Time	From	User
*c1	6.30.B022	12787372	01/01/2020 00:50:38	10.90.90.100	admin (Web)
2	6.30.016	12774896	01/01/2020 00:46:07	10.90.90.100	admin (Web)

追加機能：

ファームウェアバージョン	追加機能
R6.30.B022	<ol style="list-style-type: none"> 1. ゲスト VLAN 設定をサポート致しました。 2. DNS リゾルバ設定をサポート致しました。 3. 暗号化されたイメージファイルによるファームウェアアップグレードに対応致しました。 4. DDPv5 v0.00.039 をサポート致しました。 5. Perpetual PoE 機能をサポート致しました。(DGS-1210-10P/28P/28MP) ※DGS-1210-10MP ではサポートされません。 6. WebUI での Ping 機能をサポート致しました。 7. TFTP サーバ指定時のオプションでドメイン名に対応致しました。 8. Syslog サーバ指定時のオプションでドメイン名に対応致しました。 9. SNTP サーバ指定時のオプションでドメイン名に対応致しました。 10. SNTP 機能でターシャリサーバの設定に対応致しました。

MIB の変更点：

ファームウェアバージョン	変更点
R6.30.B022	<ol style="list-style-type: none"> 1. ゲスト VLAN 設定をサポート致しました。 2. DNS リゾルバ設定をサポート致しました。 3. Perpetual PoE 機能をサポート致しました。(DGS-1210-10P/28P/28MP) 4. WebUI での Ping 機能をサポート致しました。 5. TLS v1.3 をサポート致しました。 6. TFTP サーバ指定時のオプションでドメイン名に対応致しました。 7. Syslog サーバ指定時のオプションでドメイン名に対応致しました。 8. SNTP サーバ指定時のオプションでドメイン名に対応致しました。 9. SNTP 機能でターシャリサーバの設定に対応致しました。

修正した問題点：

ファームウェアバージョン	修正した問題点
R6.30.B022	<ol style="list-style-type: none"> 1. DGS-1210-52 で IPv6 スタティックネイバエントリが作成できない問題を修正致しました。 2. システムログに意図せずファンエラーが出力される場合がある問題を修正致しました。 3. PoE スケジューリングが適切に動作しない場合がある問題を修正致しました。 4. アカウントのパスワードに「\$」「¥」を含めることができないように修正致しました。 5. IGMP スヌーピングにおいて、IGMP Leave Group メッセージ受信時に送信元ホストへのマルチキャスト送信が停止しない場合がある問題を修正致しました。 6. Asymmetric VLAN 機能を無効にしようとした際に、"Cannot Set Data"が表示され、無効にできない問題を修正致しました。 7. ACL Wizard 機能の IPv6 ACL ルールにおいて、「Next Header」に ICMPv6 を選択した場合に Protocol Type が誤っていた問題を修正しました。

既知の問題：

ファームウェアバージョン	既知の問題点
R6.30.B022	<ol style="list-style-type: none"> 1. Firmware Upgrade において、Internal Flash への書き込み処理による CPU 高負荷のため、STP/RSP/MSTP、および LACP の動作が不安定になる場合がある問題。 2. 複数の IPv4 Interface を設定した際に、DHCP Relay が適切に機能しない問題。(制限事項) 3. RA に関する機能実装がないため、複数の IPv6 Interface を設定した際に、DHCPv6 Relay が適切に機能しない問題。(制限事項) 4. GARP による ARP テーブルの更新に対応していない問題。(制限事項) 5. MAC アドレス学習において最大テーブル数の 1%以上のロスが発生する問題。(制限事項) 6. CPU インタフェースではジャンボフレームがサポートされない問題。(制限事項) 7. EEE の有効化/無効化により、インタフェースがリンクアップ/リンクダウンする問題。(制限事項) 8. DNA v3.0.2.7 においてアップグレード結果が表示されない問題。(制限事項) 9. ロードモードにおいて SFP インタフェースがサポートされない問題。(制限事項) 10. スイッチを再起動すると、PoE 接続されている IP カメラが検出されない問題。(制限事項) 再起動完了後に PoE を有効化する必要があります。 11. SNMP のウォームスタートトラップがサポートされない問題。 12. Storm Control の設定において、Unknown Unicast の設定が含まれる場合、CPU 宛ての Traffic も対象となります。(制限事項) 13. Asymmetric VLAN の機能は、複数の IP Interface を作成している状態では有効に出来ません。(制限事項) 14. DHCP Relay において指定する Server IP は、DGS-1210 に設定された IP Interface と同一 IP Segment である必要があります。(制限事項) 15. Web GUI のサーベイランスモードにおいて、Tools > Reset System 画面および Tools > Reboot Device 画面が一部欠けて表示される問題。

Copyright 2006-2022 D-Link Japan K.K.